

- 問1 東京都中央卸売市場におけるなすの月別入荷量を調査すると、冬から春（2月～5月）にかけて高知県産の入荷がピークを迎えることがわかります。このように、温暖な気候とビニールハウスなどの施設を利用し、栽培時期を早めて出荷する栽培方法の名称を答えなさい。（2024年 埼玉県公立入試 類似）
1. 近郊農業                      2. 抑制栽培                      3. 二毛作                      4. 促成栽培
- 問2 1998年に明石海峡大橋が開通したことで、徳島県と関西方面を結ぶ交通状況には大きな変化が見られました。この変化の内容とその背景にある理由として、最も適切な記述を選びなさい。（2024年 埼玉県公立入試 類似）
1. 航空路線の拡充と運賃の低価格化が進んだことで、遠距離移動の利便性が高まり、短距離のフェリー輸送人数が大幅に減少した。
2. 高速道路網の整備により、自動車や高速バスへの転換が進んだことで、それまで主要な交通手段であったフェリーや旅客船の輸送人数が大幅に減少した。
3. 鉄道の複線化と高速化が進んだことで、通勤・通学客の利用が鉄道に集中し、フェリーや旅客船の輸送人数が大幅に減少した。
4. 瀬戸内海での環境規制が強化されたことにより、大型旅客船の運航が制限されたため、フェリーの輸送人数が大幅に減少した。
- 問3 中国地方の製造業について、広島県では自動車などの輸送用機械の出荷額が大きな割合を占めるのに対し、山口県では約1兆9,780億円に達する化学工業の出荷額が、県内の他業種や近隣県と比較しても突出して高いという特徴があります。このような山口県の工業の形態について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）
1. 都市近郊の立地を生かし、食料品加工や印刷業など、消費地に近い利点を最大限に活用した中小工場が密集している。
2. 臨海部に石油精製所や化学工場などが集まり、原料や製品を効率的にやり取りする石油化学コンビナートが形成されている。
3. 良質な鉄鉱石や石炭が近隣で産出されるため、それらを原料とした大規模な製鉄所を中心とする重工業が発展している。
4. 内陸部の広大な用地に、電子部品や半導体を製造する先端技術産業の工場が高速道路沿いに集積している。
- 問4 宮崎平野や高知平野などの冬でも温暖な地域では、ビニールハウスなどの施設を利用してピーマンやなすなどの夏野菜を栽培し、本来の収穫時期よりも早い冬から春にかけて出荷する工夫が行われています。このような栽培方法を採用する最大の利点は何ですか。（2016年 秋田県公立入試 類似）
1. 他の産地の出荷が少ない時期に市場へ出すことで、有利な価格で販売できる点
2. 同じ土地で一年に二度、同じ作物や異なる作物を栽培して収穫量を増やす点
3. 冷涼な気候を利用して収穫時期をあえて遅らせることで、供給を安定させる点
4. 大都市に近い立地を活かして、輸送コストを抑えながら新鮮な状態で出荷できる点
- 問5 島根県東部では、1990年以降に新たに増設された工業団地の多くが、国道9号や54号のバイパスといった自動車専用道路の沿線に集中して立地しています。このように、工業団地が自動車専用道路の付近に建設される主な理由として、最も適切なものはどれですか。（2024年 島根県公立入試 類似）
1. 地価の安い山間部を開発して工業用地を確保するため
2. 海外からの輸入に備えて港湾施設との連携を強化するため
3. トラックを利用した製品の輸送における利便性を高めるため
4. 鉄道を利用した原材料の大量輸送を効率化するため
- 問6 中国地方を構成する各県の県庁所在地の位置関係について述べた文として、正しいものを次のうちから選びなさい。（2016年 香川県公立入試 類似）
1. 鳥取県の県庁所在地は松江市であり、島根県の県庁所在地である鳥取市の東側に位置している。
2. 山口県の県庁所在地は山口市であり、島根県の県庁所在地の東側に隣接している。
3. 島根県の県庁所在地は広島市であり、瀬戸内海に面した政治・経済の拠点となっている。
4. 島根県の県庁所在地である松江市は、隣接する鳥取県の県庁所在地よりも西側に位置している。
- 問7 岡山県と香川県を陸路で結ぶ瀬戸大橋が完成したあと、周辺地域の交通機関に現れた具体的な影響について述べた文として、正しいものはどれですか。（2020年 千葉県公立入試 類似）
1. 陸上交通の利便性が向上した結果、それまで重要な役割を果たしていたフェリー航路の廃止や減便が生じた。
2. 四国から本州への移動に時間がかかるようになったため、本州側にある主要都市への通勤が困難になった。
3. 瀬戸大橋は鉄道専用の橋として建設されたため、自家用車による本州と四国の往来は不可能になった。
4. トラック輸送のコストが上昇したため、瀬戸内海を通る貨物船の利用が以前よりも増加した。
- 問8 四国地方における交通網の整備とその影響について述べた次の文のうち、1985年から2015年の交通手段別利用者数の推移から読み取れる状況として、歴史的背景をふまえて正しいものはどれですか。（2020年 鳥取県公立入試 類似）
1. 瀬戸大橋の開通によって鉄道の利便性が飛躍的に高まったため、2015年時点では鉄道が最大のシェアを占めている
2. 本州四国連絡橋の開通によって自動車の利用が飛躍的に伸びた一方で、鉄道の利用割合は減少傾向にある
3. 航空機の大規模化と空港の整備が進んだ結果、自動車を上回るペースで航空機の利用者数が推移している
4. 橋の開通によって船舶の利用価値が見直され、自動車と船舶を併用する利用者が2015年にかけて倍増した
- 問9 高知県では、冬から春の時期に出荷量を増やすために、温暖な気候やビニールハウスを活用してなすの成長を早める工夫をしています。このように、自然条件や施設を利用して作物の出荷時期を本来の時期よりも早める農業形態を何と呼びますか。（2025年 三重県公立入試 類似）
1. 抑制栽培                      2. 近郊農業                      3. 促成栽培                      4. 適地適作
- 問10 岡山県から山口県にかけての瀬戸内海沿岸部における工業の特色について、正しい説明はどれですか。（2018年 沖縄県公立入試 類似）
1. 情報通信技術（ICT）を活用したソフトウェア開発や、バイオテクノロジーなどの先端産業が生産の中心となっている
2. 自動車の組み立て工場が内陸部の広大な土地に集中し、日本最大の工業生産額を誇る工業地帯となっている
3. 高速道路のインターチェンジ付近に、小型で軽量の集積回路（IC）を製造する「シリコンアイランド」が形成されている
4. 石油精製所や化学工場が港湾周辺に集まり、互いにパイプラインなどで結ばれた石油化学コンビナートが形成されている
- 問11 2022年の統計において、ため池の数が多い上位3県は兵庫県（22,047）、広島県（18,155）、香川県（12,269）となっています。これらの県で共通してため池が多く作られてきた背景として、正しいものはどれですか。（2024年 大阪府公立入試 類似）
1. 内陸部で大規模な河川が不足しており、工業用水を安定的に供給するための貯水施設が必要だったため。
2. 冬の降雪量が非常に多く、春先の雪解けによる洪水を防ぐための調節池として活用するため。
3. 年間を通じて降水量が少なく、農業用水を確保するために雨水を貯めておく必要があったため。
4. 標高が高い地域が多く河川の勾配が急であるため、生活用水を確保するダム の代わりとして整備されたため。